

# ふるさと散歩

福田編  
磐田文化財マップ



市指定文化財 鯉釣船絵馬(六社神社)



福田漁港



嫁に行くなら福田の川岸(かし)へ、  
お江戸帰りの船が着く

## 福田みなとの歴史と風土

宝永4年(1707)の地震により横須賀湊が隆起し、使用できなくなると、横須賀藩は太田川の河口に、福田湊を築きました。これにより、福田は江戸時代から明治初期にかけて湊町として発展することとなります。仿僧川の船溜りには和船が係留され、河畔には廻船問屋や倉庫、宿が並び、川洲には巖島神社が祀られていました。

福田湊には、前川を通じ城下に集められた藩米や塩が、今之浦川を通じ見付方面から茶や酒などが集められ、江戸や大坂に運ばれました。当時の繁栄した様子は「嫁に行くなら福田の川岸へ、お江戸帰りの船が着く」とうたわれました。

東海道線開通によって海運業が下火になると、鯉などの海洋漁業の拠点となりました。六社神社には鯉釣船の絵馬も奉納されています。また、近年ではシラス漁を中心とする近海漁業基地として知られています。

福田地区は「福田みなと」の繁栄とともに歩んできました。

## 太田川の変遷

春埜山を源流とする太田川は、袋井・掛川方面から流れ出る原野谷川と、市内和口付近で合流し遠州灘へそそぎます。これは、慶長9年(1604)に伊奈忠次の治水工事によるもので、それ以前の両河川は合流せず、蛇行を繰り返し、複雑な流路を造っていました。旧太田川は稗原付近で西へ折れ、今之浦川に合流していました。一方、旧原野谷川は豊浜付近から東方向へ流れていました。古川が旧太田川の、豊浜地区を縦



(手前が北)

### 掘り起こされた中世 — 元島遺跡 —

元島遺跡は弥生時代から江戸時代にかけて営まれた遺跡で、太田川の河川改修のため発掘調査が行われました。

元島遺跡は福田地区で最も早く人々が住み始めました。弥生時代の多量の土器とともに方形周溝墓、古墳などが発見されています。

戦国時代の元島は、水路と旧原野谷川によって遠州灘に臨む湊(袋井市湊地区付近)と結ばれていました。湊からは多くの陶磁器・物資が運ばれ、多くの住居と倉庫が造られました。発掘調査では多量の陶磁器が出土しています。元島は物資の集積地として繁栄し、陸揚げされた物資は国府や東海道の宿へ運ばれたと考えられています。



発見された建物跡



方形周溝墓



甕(かめ)

断する東川(東川排水路)～前川が旧原野谷川の流路にあたります。

この太田川治水工事によって、河川敷となる大島村(大嶋郷)が移村しました。現流路の東側へ移った11軒が大島村を、西側へ移った5軒が小島村を作りました。かつての村の場所を「元島」と呼び、水田の一角には五輪塔が残されていました。



かつて元島に残されていた五輪塔(河川改修のため今は東小島地内に移されました。)

### 大嶋郷と元島

大嶋郷の跡地である元島は、大島村の人々によって水田とされましたが、その地下には大嶋郷を物語る井戸や住居など跡が残されました。発掘調査によって、江戸時代初期の農村の様子が明らかになりました。

元島遺跡(北側上空より)左写真真点線内

### 横須賀街道と太田川の渡船

横須賀藩は、城下町である横須賀と藩港として築いた福田湊を結んだ街道の整備を行いました。沿道には松が植えられ、太田川には太田川渡船も設けられました。江戸時代の文献には1人12文の船賃の記録があります。



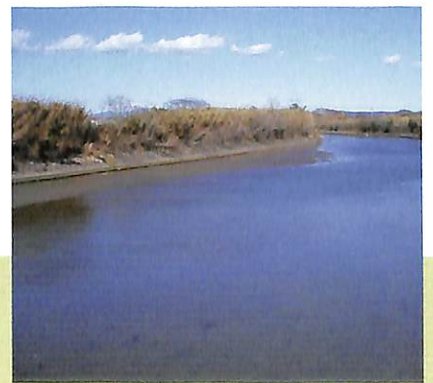
旧横須賀街道



太田川の渡船場跡

### 原野谷川と前川

豊浜地内を流れる東川排水路が江戸時代以前の原野谷川の流路です。原野谷川は豊浜の南方で東へ折れ、弁財天川にそそいでいました。高低差がない前川には、横須賀城下から福田湊へ、物資を運ぶための川舟が往来していました。



前川(旧原野谷川)

## 福田の歴史と文化財

福田地区は太田川が運んだ肥沃な大地にめぐまれ、豊かな農村集落が開かれました。また、太田川河口には自然地形を活かした湊も置かれました。中世の福田地区は鎌田御厨の範囲に含まれていたようです。江戸時代には山名郡に属し横須賀・掛川・浜松の諸藩や旗本・幕府によって支配されました。

地区内には「米とぎまつり」や「十日祭」など近郷には見られない民俗行事も残されています。



### 市指定文化財

#### 浅間神社本殿とヤマモモ

浅間神社本殿は江戸時代からの寺社建築の伝統を引き継いでいます。また、樹高10m以上あるヤマモモは「お宮のヤマモモ」として親しまれています。



### 市指定文化財

#### 一色のイヌマキ

根回り約4.3m、樹高約12m、樹齢約500年の大木。低地では最大級に成長したイヌマキです。

### 市指定文化財

#### 八王子神社 米とぎまつり

下太の八王子神社では、1月の第2日曜日に疫病除を願って米とぎまつりが行われます。裸の男衆が今之浦川で米をとぎ、神前に供える民俗行事です。



### 市指定文化財

#### 伊豆入江長八作 次郎長漆喰画像

漆喰画を芸術の域まで高めた入江長八によって描かれた清水次郎長の漆喰画。塩新田公民館に保管されています。



#### 温室メロン発祥の地

大正年間、ガラス温室によるメロン栽培が始まりました。その後、日照時間の長さなどの気候に適し、温室メロン産地へ発展しました。

### 市指定文化財

#### 神明宮棟札

伊勢神宮を勧請して建立された社殿は、21年ごとに建替えられました。また建替えの変遷を知ることができる10枚の棟札が伝わっています。



# 福田地区の歴史と文化財



### 村々の秋葉山信仰

秋葉山は火防の神として、江戸時代から民衆に深く信仰されていました。村ごとに秋葉山を祀る燈籠が建てられました。

三番組常夜灯は昭和初期に建築されたものです。また、雁代秋葉山は嘉永3年(1850)に秋葉山を模して作られたもので、小高い山には祠が祀られています。



市指定文化財 三番組秋葉山常夜灯



雁代の秋葉山

### 別珍の祖 寺田市十の碑

文久3年(1863)に福田で生まれた寺田市十は明治43年(1910)頃から別珍の研究をはじめ、別珍生産の基礎を築きあげました。



### 船着場(川岸みなと跡)

仿僧川の河畔は、川岸と呼ばれています。江戸時代には和船が、福田漁港が整備される以前はシラス漁などの漁船が係留されていました。



仿僧川に係留された漁船

### 県指定文化財

#### 絹本着色 釈迦十六善神画像

「絹本着色釈迦十六善神画像」は中野白山神社の社室で、昭和57年に静岡県文化財に指定されました。鎌倉時代後期の作で、釈迦をはじめ、文殊・普賢菩薩、玄奘三蔵法師、深沙大将などが描かれています。



絹本着色 釈迦十六善神画像

### 中野白山神社例祭(白酒)と 中野白山神社十日祭(お箱)

中野白山神社は寛正3年(1462)に創建されたと伝えられます。毎年10月第1日曜日の例祭では、御神酒を自製し神前に奉納します。近隣では唯一の行事でどぶろく祭とも呼ばれます。

また、毎年1月第2日曜日には3人の未婚青年(盛松)が釈迦十六善神画像などを入れた3つの箱を挙げ持ち、地区を回り、住民の無病息災を祈る風習が行われます。



市指定文化財 中野白山神社例祭(白酒)



市指定文化財 中野白山神社十日祭(お箱)

### 市指定文化財

#### 俳人 加藤知碩の碑

加藤知碩は文化11年(1814)に豊浜中野に生まれた俳人で、遠江一円に多くの門人を育てました。自然を詠んだ作品を多く残しました。



### 市指定文化財

#### 氏神様の年始回り

豊浜小島方地区に残る民俗行事です。地区から選ばれた桶屋が、案内人と共に、氏神である三嶋神社の御神体を持ち、地区内を回り、御札を各戸に配布する行事です。毎年1月13日に実施します。



### 県指定文化財

#### 鯨口

廃寺となった大安寺に納められていた鯨口。市内で最も古いもので、延文5年(1360)の年号と大嶋郷の名が刻まれています。大島公民館に保管されています。



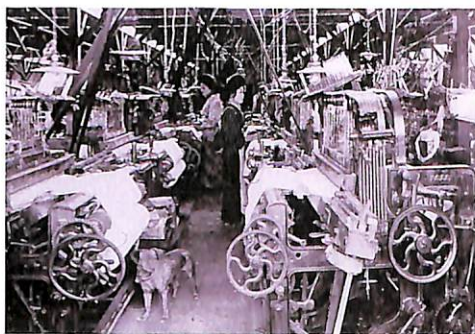
# 磐田市概略図



1. 獅子ヶ鼻公園
2. 豊岡駅
3. 社山城跡
4. 豊岡総合センター
5. 米塚古墳
6. 銚子塚古墳・小銚子塚古墳
7. 長者屋敷遺跡
8. 新豊院山古墳群
9. 磐田市立総合病院
10. 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ
11. 磐田インターチェンジ
12. 遠州豊田パーキングエリア
13. 鶴ヶ池
14. 桶ヶ谷沼
15. 甕塚古墳
16. 熊野の長ふじ
17. アミューズ豊田
18. 旧赤松家記念館
19. 埋蔵文化財センター・中央図書館
20. 矢奈比売神社(見付天神社)
21. 旧見付学校
22. かぶと塚公園
23. 京見塚古墳
24. 遠江国分寺跡
25. 磐田市役所
26. 府八幡宮
27. 善導寺クス
28. 城山球場
29. ヤマハスタジアム磐田
30. 香りの博物館
31. 松林山古墳
32. 医王寺
33. 堂山古墳跡
34. 大池
35. 静岡産業大学
36. なぎの木会館
37. はまぼう公園
38. ゴルフ場
39. 掛塚灯台・風竜
40. 竜洋海洋公園

## 別珍・コール天の里 — 福田の産業 —

江戸時代後期に福田で織物が行われるようになりました。明治期にはたおり機織機の改良により、綿織物の生産が急増し、明治29年(1896)頃からコール天織がはじまります。一方、寺田市十らの研究・開発により別珍が生産されるようになります。その後、福田は別珍・コール天の国内最大産地として知られるようになりました。



大正時代の織物工場

## 天龍社織物工業協同組合

大正13年(1924)に産業組合法により、織物各社の組合として設立し、中遠地区の別珍・コール天の発展に寄与しました。

発行・編集 磐田市教育委員会文化財課

〒438-0086 静岡県磐田市見付3678-1 TEL0538-32-9699

発行日 平成22年12月 改訂

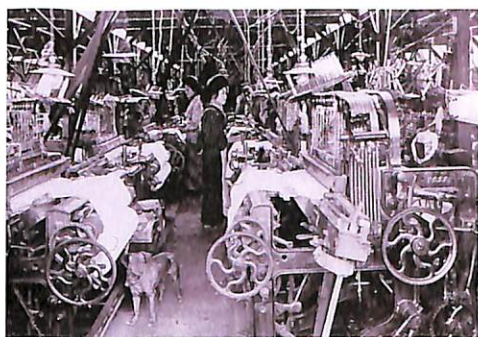
# 磐田市概略図



- 1.獅子ヶ鼻公園
- 2.豊岡駅
- 3.社山城跡
- 4.豊岡総合センター
- 5.米塚古墳
- 6.銚子塚古墳・小銚子塚古墳
- 7.長者屋敷遺跡
- 8.新豊院山古墳群
- 9.磐田市立総合病院
- 10.磐田スポーツ交流の里ゆめりあ
- 11.磐田インターチェンジ
- 12.遠州豊田パーキングエリア
- 13.鶴ヶ池
- 14.桶ヶ谷沼
- 15.飯塚古墳
- 16.熊野の長ふじ
- 17.アミューズ豊田
- 18.旧赤松家記念館
- 19.埋蔵文化財センター・中央図書館
- 20.矢奈比売神社(見付天神社)
- 21.旧見付学校
- 22.かぶと塚公園
- 23.京見塚古墳
- 24.遠江国分寺跡
- 25.磐田市役所
- 26.府八幡宮
- 27.善導寺大クス
- 28.城山球場
- 29.ヤマハスタジアム磐田
- 30.香りの博物館
- 31.松林山古墳
- 32.医王寺
- 33.堂山古墳跡
- 34.大池
- 35.静岡産業大学
- 36.なぎの木会館
- 37.はまぼう公園
- 38.ゴルフ場
- 39.掛塚灯台・風竜
- 40.竜洋海洋公園

## 別珍・コール天の里 —福田の産業—

江戸時代後期に福田で織物が行われるようになりました。明治期にはたわり機織機の改良により、綿織物の生産が急増し、明治29年(1896)頃からコール天織がはじまります。一方、寺田市十らの研究・開発により別珍が生産されるようになります。その後、福田は別珍・コール天の国内最大産地として知られるようになりました。



大正時代の織物工場

## 天龍社織物工業協同組合

大正13年(1924)に産業組合法により、織物各社の組合として設立し、中遠地区の別珍・コール天の発展に寄与しました。

発行・編集 磐田市教育委員会文化財課  
 〒438-0086 静岡県磐田市見付3678-1 TEL0538-32-9699  
 発行日 平成22年12月改訂